

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和6年度 第4回寒川町地域福祉計画推進会議
開催日時	令和7年1月22日（水）13時～14時15分
開催場所	健康管理センター 2階 会議室
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	・出席者委員 山本正司委員（会長）、徳澤小次郎委員、森一光委員、天尾隆子委員、江藤恵子委員、木藤剛委員、小川原寿恵委員、関野淳委員、枝光悦子委員、小澤宏史委員、小林幸子委員、望月真里子委員 ・事務局 福祉課 中澤福祉課長、新藤主幹、柏木主査、木村技師 町社会福祉協議会 稲葉事務局長、土屋主任主事 ・欠席者 横山大樹委員（副会長）、飛田尚慶委員、三留当美代委員、渡部昭二委員、中村綾乃委員 ・傍聴者 なし
議 題	・次期地域福祉計画（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について ・次期地域福祉計画原案について
決定事項	・次期地域福祉計画（案）にかかるパブリックコメントの実施結果 ・次期地域福祉計画原案
公開又は非公開の別	公開
議事の経過	1 開会 福祉課長よりあいさつ 2 あいさつ 山本会長よりあいさつ 3 議題 （1）次期地域福祉計画（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について

(山本会長)

事務局から説明をお願いします。

資料 1、2、3 の説明

(事務局 柏木)

資料 1 について、昨年 12 月 7 日から本年 1 月 6 日までの 31 日間を募集期間とし、町役場をはじめ 11 か所への資料配架及び町ホームページへの資料掲載を実施したところ、2 名の方から 6 件の意見をいただいた。

その内容は、資料 2 の「提出された意見全文」に記載のとおりであり、意見に対する町の考え方については、資料 3 の「意見の内容と町の考え方」と資料 4 の「寒川町みんなの地域福祉つながりプラン原案」を併せて説明していく。

1 つ目の意見である計画書 16 ページに該当する計画の体系については、「理念に基づき、目標、施策が示され、体系が理解しやすい。」とのことで、「共生社会実現への考え方及び町総合計画の方向性と合致していることから、現行計画の理念、目標を継承し、昨今のニーズを踏まえた施策を展開している。」と示し、計画書は原案のままとする。

2 つ目、3 つ目の意見である計画書 23 ページに該当する基本目標 1、施策の方向性④については、「目標達成に向け、皆で解決する方向性や、新規登載された施策が良い。」とのことで、「計画の実効性を担保するための財源確保について登載している。」と示し、計画書は原案のままとする。

4 つ目の意見である計画書 24～30 ページに該当する基本目標 2 については、「必要なことであり、実行されたい。」とのことで、「住民の複雑化したニーズに対し、包括的かつ多機関協働による支援体制の整備をすすめる。」と示し、計画書は原案のままとする。

5 つ目、6 つ目の意見である計画書 39 ページに該当する基本目標 3、施策の方向性⑤については、「生活困窮者や孤独に陥る可能性のある方々に目を向けることが重要であり、新規登載された施策が良い。」とのことで、「福祉事務所未設置町村ではあるものの、身近な窓口として課題を受け止め、各支援機関につなげるべく登載し、誰も取り残さない支援を目指す。」と示し、計画書は原案のままとする。

(山本会長)

質問・意見等あるか。

(2) 次期地域福祉計画原案について

資料 4 の説明

(山本会長)

事務局から説明をお願いします。

(事務局 柏木)

	前回会議において皆様からいただいた意見を基に一部修正し、計画原案を作成した。前回からの変更点や追加点について、軽微なものを除き、説明する。 6 ページ目のSDGs についての説明文中、本計画に見合わない「地方創生」の文言を削除した。55～56 ページ目の策定経過について、現時点における内容に変更。72 ページ目のヤングケアラーについての解説文中、「18 歳未満」の文言を削除し、「若者」という文言を追加、また空白箇所におけるイラストの位置を調整した。今後の予定としては、庁議及び議会への報告を経て、計画を確定する。 前回会議より、8、9 ページ目の人口推計部分について、どのような根拠のものかと質問があった。所管課に確認したところ、「人口ビジョンに掲載の将来人口推計は、人口増が続く近年の人口動態を加味したうえで、推計。目標人口については、将来人口推計の人口構成に対し、現状のサービスの維持をするために必要な労働人口及び税収の確保の観点から算出している。目標人口は持続可能な行財政運営を行う上での一つの目安であり、達成すべき人口の最低ラインを表している。よって、町としても目標人口を超える人口の確保を目指すところだが、人口減少社会において、現状に近い水準を維持していくことでさえ、高い目標であるものとも捉えている」、とのことであった。 (山本会長) 質問・意見等はあるか。 (徳澤委員) 人口推計について、中国でさえ人口増を模索し始めている。町としてあるべき姿に近いアクティビティに関する施策を考えてもらいたい、という単純な疑問がある。 (山本会長) 町の政策全体に係る問題だと思う。人口増の要因は、他自治体からの転入があると思うが、持続可能な社会のために、地域振興や子育てしやすい環境など複合的な要素がある。福祉課だけで考えるのは難しいため、魅力的な町となるよう、町全体で考えていかなければいけないと思う。 (事務局 柏木) 人口増に結びつくような施策や政策を考えていかなければとは個人的に思う。現状、内容については地域福祉計画の範疇で代えさせてもらっているが、所管課には、いただいた意見を伝える。 (山本会長) 他に質問・意見等はあるか。 (徳澤委員) 具体的な取組みに対して、どうしたらできるか、という部分があればよい。例
--	--

	えば、用語説明に、実際の相談先の連絡先など具体的な記載ができないか。要するに行政のどこに相談すればよいのか、という部分が分からない。 (中澤課長) 本計画は、上位計画にあたる。例えば、下位計画である障がい者福祉計画には、もう少し具体的な相談先、連携先などの記載がある。本計画は、理論・考え方を策定する位置づけとなっている。ガイドブックなどは各所管課で作成し、活用を案内しているため、本計画において包含することは難しい。 (山本会長) 施策の展開の中に、関係する部署のガイドブックを参照した連絡先の記載や、最終ページに相談先一覧などの掲載があると、関連性が見え、本計画を見た人が具体化できると思う。 (中澤課長) 相談先の一覧を計画に位置づけることは、趣旨と異なると考える。個々の取組に対して、計画とリンクしていることが示せれば、町民が見たときに具体化できるという整理になるかと思うが、内部で検討する。 (山本会長) 計画を掲載しているホームページ上に、下位計画のリンク先があれば、個々の取組が検索しやすくなるか。 (中澤課長) ホームページ上で、必要な計画に飛べるような形で公表できるようにしていきたいと思う。 (望月委員) 2点ある。44ページについて、「～町民アンケートで定性評価」とあるが、いつ頃、実施するか。同じアンケートを実施することになると思うが、施策の方向性と、アンケート設問のどの部分がリンクしているか、という整理ができると良い。また、下位計画で細かく評価とあるが、下位計画のこの部分を、上位計画のこの部分で評価する、という点が明確にできると良いと思う。これについては、本会議体の中で共有できればと思う。 2点目は、40～41ページの「～や、～や」と続いているため、「や」を一つ消去してはどうか。 (事務局 柏木) 評価の時期としては、次期計画策定時に行うアンケートによって評価を行う。アンケートの設問が施策の方向性のどの部分と結びついているか、という点は、計画内の現状と課題の中に散りばめているため、視覚的に見やすい工夫などは次回に向けて検討していく。また、下位計画の進捗確認については、前年度の結果を各所管課に照会をかけて、別シートを作成し示しているところだ
--	--

	が、見せ方をわかりやすくしていきたい。2点目のご指摘の件は修正を行う。 (山本会長) 各部署での評価結果を会議体で公表することは、計画の見直しにつながると思う。計画の変更を柔軟に行うことが、実情に合わせるという点で重要ではないか。 (森委員) 計画自体が何をやっているか動きが見えない、という話もあったと思う。本計画は下位計画の積み上げで作成するのか、本計画を作成のもと下位計画を実施するのか、という2つのやり方があると思うが、本来は個々の下位計画の課題を取りまとめ、上位計画となる本計画を作成する方が合理的であると感じた。人口の関係について、別の会議体にも参加しているが、簡単に言えば地方創生であり、必ずしも人口を増やす必要性はなく、現状に見合った福祉施策などを作っていくことが重要だと思った。 (山本会長) 全国的に人口減少のなか、生産力が落ちることに対してマイナスの印象を持たれるが、必ずしも残念な社会ではないと思う。意見のとおり、町の人口、構成に合った施策を展開していくことが必要であり、必要な部分に、必要な施策を確実にやっていくことが、重要なことだと思う。そのような視点も織り込みながら本計画も考えていければよい。 成年後見制度利用促進基本計画と再犯防止推進計画については、アンケートを踏まえてという意味で、あえて表紙に記載しているのか。 (事務局 柏木) 成年後見制度利用促進基本計画と再犯防止推進計画については、本計画と一体的に策定してよいという形になっているため、第4章、第5章に掲載している。 4 その他 (山本会長) 各委員から一言お願いしたい。 (江藤委員) 多くの気づきを得られた。計画の内容が、皆さんの意見のなかで調整されていく過程を知ることができてよかった。自身も町に住んでいてわからないことがたくさんあるため、各担当課に聞いていくことの大切さも学んだ。福祉課と社会福祉協議会（以下、社協）が両輪で事業を進めていくことの大切さと、町を好きになって、生きていける人生を送ることが大事だと感じた。 (天尾委員) 計画に携わり、様々な下位計画との連携のなかで本計画ができていることを改めて考える機会を与えられてありがたい。保護司をやっている立場として、再
--	---

	犯防止推進計画が登載されたことは、再犯の防止の一つの推進になると思う。生まれた環境など福祉の観点からも再犯はつながるため、子育て支援など、子どもたちの生活といった視点も大事。相談先がわからないという意見も出ていたが、ごみの収集のカレンダーのような形で、相談先の一覧が分かる広報の仕方があれば嬉しいと思った。 (森委員) 自治会活動において、認知症の方の家族とやり取りする機会があった。計画にも認知症サポーターと記載があるが、役割を明確化することも必要と感じた。鹿児島県の一部地域の小売店で、認知症高齢者が手伝いを行う取組みがあることをテレビで知った。地域でのコミュニケーションの場や、認知症状の抑制につなげる町づくりを行うことは、大切なことだと感じた。 (徳澤委員) 言いたいことを言えて、ある程度計画にも反映してもらえて幸せだった。計画の話とは別だが、近所で話をしていると、そんなことも知らないのか、ということが多々感じる。その乖離をどのように縮めるかということが、これからの課題だと思う。 (山本会長) 計画の理念的なものは大きく変わらないが、その中の各事業を丁寧にやっていくことと、それに対する濃淡はある。例えば、高齢化が進んでいる地域では、介護予防や認知症サポーターに力を入れていると思うが、住民の入れ替わりが大きい地域では、子どもの転入、転出も多いため、子ども食堂を開催するといった、濃淡はある。寒川町は、大都市でも限界集落でもないからこそ、福祉施策一つとっても独自のやり方があると思う。本会議の委員に長く携わっているが、理念の部分や方向性に対して、町民の意見を反映させるという点で、丁寧に計画が作成されている。計画を実施した際に、件数だけではなく、実施により何が見えてきたかというフィードバックによる計画の作成が今後は重要だと思う。 (木藤委員) 委員としてあまり協力できず申し訳ない。町民が計画にきちんと目を通さないと意味はないと思っている。ケアマネジャーという仕事をしているため、計画を持ち歩き、利用者に使えることがあれば、活用していきたい。 (小川原委員) 障がい者福祉計画の策定には関わっていたが、今回の会議に参加して、福祉に関する計画がたくさんあることを改めて知れて勉強になった。発言しやすい会議体で、毎回楽しく出席させていただいた。 (関野委員)
--	---

福祉活動センターにもパブリックコメントを置いていたが、当事者やその家族がどこまで知っているか、という点では難しいと感じた。事業者連絡会としてどこまで間に入って説明してよいのかなど、事務局と相談しながら進められたら良かったとは、少し後悔している。引き続き、推進に向けて取り組んでいければと思う。

(枝光委員)

地域福祉について知識がなかったが、色々知れる機会だった。切れ目のない支援を考えるなかで、発育、仕事、健康、災害など様々な話が出ており、地域で暮らしていく上での横のつながりが大事だと感じた。子育て支援センターの利用者の中には、最近転入した方も多く、職員も本計画を用いて社会資源の知識を入れながら、利用者へ発信していきたいと思った。

(小澤委員)

事業所の管理者として、介護事業所連絡会の役員もしていた。別の市では、社協で仕事を行い、計画の策定にも携わったりしていた。その市は、市社協のほかに地区社協、自治会活動があり、会議の中で、福祉に関しての温度差を感じていたため、その溝を少しでも埋められればと思い、本会議にも参加させていただいた。

(小林委員)

町と町社協の一体計画であるため、すり合わせの難しさもあったと思うが、町、町社協という町民との近い距離感もあり、しっかり町民の意見を反映した計画になったという話を聞けて良かった。計画策定後の進行管理、見直しについても、今後も皆さんが味方になって進められたら、良い計画になると思った。

(望月委員)

町の強み、大事にしている部分が、“つながり”であると感じた。そこを引き続き軸に考えて展開しているところが、なおその点を印象付けられた。計画が絵に描いた餅にならないように、町民アンケートに協力してもらった方を含め、町民へ計画を説明する機会も持つことを、次のステップとして考え、町が大事にしている、“つながり”というメッセージを伝えていければ良いと思う。

(山本会長)

以上で議題は終了。事務局から一言お願いします。

(事務局 柏木)

今後の予定について、パブリックコメント実施結果は、庁議、議会へ報告した後、原案を庁議に諮り、本計画は確定となる。来年度以降は、計画の進捗、モニタリング、達成状況など皆さんと一緒に議論をしていきたい。本日の会議は本年度最終回であり、委員任期も最後となるが、大変感謝している。建設的なご意見をもらえた良い会議であった。次の任期については、委員推薦母体に依

	頼させていただくので、引き続きよろしくお願いいたします。 5 閉会 事務局 新藤主幹より閉会のあいさつ
配付 資料	資料1 寒川町みんなの地域福祉つながりプラン（案） パブリックコメント実施結果 資料2 提出された意見全文 資料3 意見の内容と町の考え方 資料4 寒川町みんなの地域福祉つながりプラン 第5次寒川町地域福祉計画・ 第6次寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画原案
議事録 承認委員	小川原寿恵委員、関野淳委員 （令和7年2月28日確定）